

青谷かみじち史跡公園

重要文化財展示室展示資料

令和 7 年 11 月 25 日～令和 8 年 3 月 22 日

新たな展示品（主なもの）

こと
琴

弥生時代中期後葉（紀元前 1 世紀頃）



青谷上寺地遺跡では 10 点の琴が出土している。天板や側板など別々のパーツを組み合わせた箱作りの琴と呼ばれるもの。完全な形に復元できるものもあり珍しい。動物の絵を描いたものもあり、何が描かれているのか諸説ある。



むもんどき
無文土器

弥生時代中期後葉（紀元前 1 世紀頃）



朝鮮半島で作られた土器。口の部分に粘土を貼り付けており、粘土帶土器とも呼ばれる。煮炊きに用いる日常の土器であるため、朝鮮半島と山陰地方の間で人の往来があったことをうかがわせる。